



関口昌男 議員
(日本共産党)

問 人事院勧告と職員の給与改善は

人事院勧告が8月に出されたがこの内容と、市としての対応は。また、臨時職員などに適応される最低賃金の引上げの答申も出たがどのように対応するのか。さらに臨時職員には賃金以外の処遇の改善も必要だがどのように検討しているのか。

答 給与改定、賃金の引上げなどを実施する

人事院勧告を受け、国会での法改正後に、当市の職員に係る給与改正条例を速やかに議会定例会に上程する。

また、埼玉県の最低賃金の引上げにともない、当市における臨時職員の賃金を上げるほか、来年度から通勤手当の支給を実施する。

問 国民健康保険の都道府県単位化の状況は

国民健康保険の都道府県単位化が来年から始まるが県との協議の進行状況は。この問題で大切なことは国民皆保険制度のセーフティネットの役割を持っている制度の安定運営だ。この制度を守るために繰入金なども必要と考えるが対応をどのように検討しているか。

答 制度改正に適切に対応していく

埼玉縣市町村国保広域化等推進会議において国保事業費納付金など、制度改正にかかる協議を進めている。いわゆる法定外繰入については、税負担の公平性、医療費の推移や国保運営方針との整合および当市の財政状況を総合的に勘案し適切に対応していく。



大倉秀夫 議員
(白新会)

問 中央公民館付近の冠水対策は

毎年台風シーズンになると集中豪雨で中央公民館西側から南方向の交差点が冠水する。道路中央部分に下水のヒューム管が埋設してあるがとてもはける状態ではない。公民館西側市道部分片側だけでもU字溝を敷設し雨水だけ黒沼用水に流せるような工事はできないか。

答 既存施設の適正管理に努める

黒沼用水路への雨水放流については、農業用水路であることから、むずかしい状況である。

今後は、排水施設の点検や清掃による維持管理を実施するとともに、土地区画整理事業および下水道計画により、改善が図られると考える。

問 観光協会外壁の改修は

教育支援センター、保健センター分館、観光協会に使われている建物が非常に景観が悪く醜怪帯びている。築37年になるので老朽化も進んでいるが、付近の建物が新しく奇麗なので目に付く状態である。当初予算の時でもあるので外壁だけでも塗装してはどうか。

答 点検確認後に必要な修繕を実施する

市の保有する公共施設などについては、保健センター分館同様に老朽化が進んでいる状況である。限られた予算の中で優先度の高い順から修繕などの対策をしていく必要がある。今後、早急に点検確認を実施した上で、外壁の塗装を含む必要な修繕を検討していく。



保健センター分館